

令和4年度 保見中における生活のきまり（生徒用）

保見中学生指導部

◇保見中生のきまり

- 保見中学校の生徒である自覚と誇りをもち、規則正しい生活をする。
- 服装・頭髪・もちものは、常に清潔にし、華美にならないようにする。
(そのまま高校入試にのぞめる身だしなみにする。)
- もちものは学校生活に必要なもののみ。高価なものは避け、ロッカーに入るものとする。
- すべてのものに記名する。(他の生徒と同じようなものをもっているため)

★裏面イラストを参考にする

《 制服 》

冬服：新制服のブレザーか、詰め襟の学生服、セーラー服（襟カバーと黒リボンをつける）

シャツはスラックスやスカートに入れる。ジャージは上着から出ないように。

夏服：学校指定のポロシャツか、白の半袖開襟シャツかセーラー服（黒襟に白線2本、黒リボン）

※ 衣替え期間はありません。自分で考えて着用する。ただし、行事の場合は服装の指定あり。

《 頭髪 》

清潔で落ち着いた容姿（オシャレや派手な工夫をするのは×）

《 体操服 》

指定の体育専用ジャージ、シャツを着用する。詳しくは体育時に指示する。

体育館では、指定の体育館シューズを使用する。

《 靴 》

白か黒どちらか1色を基調とした運動靴。通学や体育の授業に適したもの。

※ ハイカットなどの適さない靴は職員室に預ける→下校時に返却。

《 靴下 》

白または黒（ワンポイント可）くるぶしソックスは使用不可×。

《 カバン 》

指定の通学カバンで登下校する。必要に応じて、サブバックを使用する。

《 その他 》

防寒着（コートやウィンドブレーカー）は前を閉め、中はブレザーか旧制服を着る。

手袋、マフラー、ネックウォーマー、タイツの使用可○。熱中症対策で帽子の使用可○。

※ 問題がある場合は、生徒指導部で判断し、家庭に連絡する。

※ スマホなどの不要物は、原則、学校で預かり、保護者に返却する。

※ 新たな変更や、つけ足しがある場合は、その都度連絡する。

保見中 制服規定

制服は正しく着用しよう。

気候や体調に合わせて、ポロシャツ（半袖・長袖）、ブレザーの着用を考えよう。

《ブレザー》

- ・式当日や行事等、学校から指定された場合は、ブレザーの着用・不着用をそろえる。
- ・ブレザーのボタンは二つとも留める。

《ポロシャツ》

- ・ポロシャツシャツの裾は出さない。
- ・ポロシャツは指定のものであれば長袖、半袖を問わない。
- ・ポロシャツの下にインナーを着用することも可とする。

《ボトム》

- ・スラックスは、黒色のベルトを着用。
- ・スカート丈はヒザが隠れる程度とする。

《ソックス・靴》

- ・ソックスについては白無地か黒無地とする。
- ・ワンポイントマーク（刺繍の色は単色とする）は可能
- ・くるぶしがかくれるものとする。

《ポロシャツ》

- ・ポロシャツの裾はトップスとして着用する場合は出しても良い。

《ボトム》

- ・スラックスは、黒色のベルトを着用。
- ・スカート丈はヒザが隠れる程度とする。

《ソックス・靴》

- ・ソックスについては白無地か黒無地とする。
- ・ワンポイントマーク（刺繍の色は単色とする）は可能
- ・くるぶしがかくれるものとする。